

刊夕 日四廿月七

常警每日新聞

定価 一部金五銭 五部金二五銭
廣告料 五部金五銭 一行金五銭
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常警毎日新聞社
印刷所 常警毎日新聞社

旅に求めて

平署
千代田金平

【六】

次に青梅署管内消防視察に際しては、消防課の自動車三臺を出発より歸る迄御便宜を與へて下さつた事には一同豫想外の待遇に感謝の外はなかつた。

石畑組を訪れる。此處にはロータリー式三輪小型自動車ポンプがあり、価格は三千五百五十圓で、昭和十年に新調したもの、農村消防には非常に好適のもの、中には直ちに購入すべき豫算を組む者さへ出る始末、それより貯水池を見る、二間に六間、深さ六尺で二百石を容るゝに足り、斯るもの十數ヶ所あるとの事。此の村は水利非常に悪く、爲めに貯水池は唯一の消火施設だ。又溝渠を利用して兩側をコンクリートで固め、堰を作り、貯水池となしたる等、熱心の程が伺はれる。而し斯く水利不便の個所であるに不拘、各戸に天水を利用する考のない事は甚だ遺憾に思はれた。

▽ △

今日も妖雲に乗せて、前日にも勝る大雷鳴、大降雹が来た。雀の卵大のものだ。傘は破れる、若葉は打落される、大荒れに荒れて二時間ばかりで妖雲は去つた、一同はホツとした。大助りだつた。

道路には無惨に打落された若葉が道路を縁に染めて居る、麥は横倒れになり馬

○明日の献立○
◎0000000000◎
◎0000000000◎

【朝】味噌汁：冬瓜

小付 ぶどう豆

【晝】茄子鍋しぎやき

【晩】お刺身：鯛のあらひ

わさび
潮汁 鯛のあらひ
らしねぎ

鈴薯は泥まみれになつて居る。みんな悲しい姿だ、大自然は僅の時間に、人の勞力を踏みにつけて行くものだ。

太陽は「誰がした？」と言ふ様に赤々と濡れた下界を照して居る。

▽ △

青梅署の好意で、村山貯水池を見せて呉れた。周囲は四里半あり、水深は七十尺、水量は大東京五百萬市民が毎日六十萬立方尺宛使用して、此の池に一滴の

文藝募集

ねりに、燕は物欲しさうにスーと低く飛んだ。

▽ △

其の夜の夜行列車に、一行の出発の元氣に引換へ、語る元氣も失せて白河の夜舟をこぎつ、歸路について居た。

尚視察員一行の顔觸は左の通り

(平)井上茂作(鹿島)佐藤末治(湯本)井坂千代松

(永戸)薬谷信雄(小名濱)松本徳次郎(三坂)永山久

助(内郷)佐藤三平(好間)叶多清(玉川)高萩繁彌

(澤渡)佐藤清司(平署)柴田署長 渡部温 金子千代松

【終】

今晩は

生ビール黨の御客様へ...
「黒ビールデー」
御蔭を以つて賣出し以來連夜賣切の盛況を厚く御禮申し上げます。
就ては今後毎週「金曜日」をキリン黒ビールデーとし樽詰黒生を奉仕いたします。

平會館
電話 六二四番

精(性)力減退
陰萎 早漏
神經 衰弱
憂鬱 症
記憶力減退
老衰 疲勞
視力減退
價二圓、三圓、五圓、送料十四錢、殖民地二十七錢、嚴封急送、調劑元福島縣浪江町 松齡堂田村本家

増車御披露

陸の王者として定評ある流線型ダツチブラザース二輛増車致しました。タクシーの御使用の際は新車揃の尼子タクシーに御用命を御待致して居ります。

大型貸切専門車も御座います。

尼子タクシー
電話 六四

藤沼醫院

平町・紺屋町
電話 五〇七番

盛夏は招く!

深緑の山へ...
紺碧の海へ...

東京鐵道局公認
不二タクシー
電話 三二番

株債券

株式賣買ノ忠實ナル御相談相手トシテ御利用下さい

尚御希望ノ方ニハ當店獨特ノ「郵線上ヨリ見タル新東觀測」ヲ御送シマス是非一度御覽ヲ願ヒマス
株式債券現物賣買

丸井株式店
平町田町 七十三
電話 四六番

外務員募集

盛夏服の大賣出し

評判のよい信用堂のレデーメイド
背 單背廣三ツ揃(シルクボーラ) 拾五圓ヨリ
廣 背廣上下(シルクボーラ) 九圓ヨリ
服 背廣上衣折衿(紺、黒、セル) 四圓五拾錢ヨリ
立衿 紺セル上衣一參圓五拾錢ヨリ 白チヨツ
上衣 キー一圓四拾錢ヨリ 白ズボン一七拾五錢
婦人ホームドレス又男女ベビー服大特賣中
ホームドレス一圓より 小供ベビー服十五錢より
男小供カッター上衣四十錢より 外豊富に取揃へて
有りますから御散歩がてら一度信用堂へ御立寄り下さい。
お電話が有り次第御届け御覽に入れます。

洋服の御用命は 信用堂へ
平町三丁目 電話 六一三番

吉田眼科病院

醫學士 吉田久雄
平紺屋町 電話 六八番

排水作業に

全能力

遭難坑夫三名の

屍体は未だ発見されぬ
坑夫三名の屍体は未だ発見されぬ
見たり好問村隅田川炭礦は目下一分間四百立方の排水ポンプ数臺を使用して一時間一尺平均の排水作業を晝夜兼行で努力して居るが作業は全能力を發揮して早ければ今晚乃至明日中には復舊の豫定であると、因に遭難

作山氏が講演 福島教育新聞社長作山美八氏は

昨廿三日來平今廿四日午前八時半より平第二、同九時半より平第三、同十一時より平第一校で夫々講演した

平町の各々部で

選舉肅正座談會

八月一日より一週間
宣傳ビラも配附して

既報平町選舉肅正對策の第一號諮問案審議委員井上茂作、大嶺庫、關内正一、多田井笑次郎、山野邊義政柴田鶴作、猪狩觀徳の七氏は本廿四日午前十時から町役場内にて協議の結果選舉に關する弊害防止として宣傳ビラ其他の文書宣傳に努むる一方八月一日より一週間は全市を七方部に分割して各々部毎に懇談會を催して弊害防止の徹底を期する計劃を樹立したと

警中借敗

安中に譲つた一点
警中對安中の野球準決勝戦

谷花園、澤村神社△尋五草野澤澤浦△尋六赤沼海岸

内郷肅正協議 内郷村は來る廿七日午前九時より役場内第一回選舉肅正委員會を招集すると

肅正辭令傳達 飯野村の肅正委員會傳達式は本廿四日午後二時から村社佐麻久嶺神社で執行、また高久村傳達式は明廿五日午前九時から同村小學校奉安庫前で肅正に執行すると

新舞子横川の

太公望が恐慌

漁業組合が續出して
料金の徴收額が増加

警報新舞子海岸の横川は釣の好適地で年中太公望の姿を見ぬ日はないが大浦村新井田漁業組合を始め横川下流の草野村及び夏井村等にも組合が出来た爲め今後は三組合の鑑札を求めなければ横川で釣魚が出来ず初見の太公望は一日分として三十錢乃至四十錢の料金を徴せられるので横川を中心とする愛釣家は無暗に組合設立を認可する縣當局を非難して居る

葬儀に參列 篠山平第一小学校長は今廿四日午前六時十五分發にて福島教育會副會長渡邊文彌氏の葬儀參列の爲め出發した

平第一校教員快勝

昨日内郷校との決勝戦

體協石城支部主催郡内小學校教員野球大會に勝ち残つた平第一對内郷校の決勝戦は昨廿三日午後一時半より第一校庭に内郷校先攻で開始され七回裏平第一チーム一死後松本政訓導の安打と横田訓導の遊撃強襲ゴロに一点をあげ左のスコアで平第一校快勝す

平町人事

△大町一五 本多春藏氏長女幹子
△八幡小路六十 佐藤一(一ツ)さん
△五丁目六 瀧口道男(一ツ)さん

△尋一鎌田山、五靈神社
△及び弘源寺△尋二神谷村
△虚空藏、農事試驗場△尋
△三神谷村出羽神社及小學校
△裏山△尋四草野村下神

水道鐵管購入 平町

は來る廿五日午後一時から

東京短期(本日)

新東	寄付	大引	高値	安値
三〇三	三三三	三三〇	三三九	三三七
新新	二二二	二二二	二二二	二二二
新新	一一一	一一一	一一一	一一一
新新	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
新新	九九九	九九九	九九九	九九九
新新	八八八	八八八	八八八	八八八
新新	七七七	七七七	七七七	七七七
新新	六六六	六六六	六六六	六六六
新新	五五五	五五五	五五五	五五五
新新	四四四	四四四	四四四	四四四
新新	三三三	三三三	三三三	三三三
新新	二二二	二二二	二二二	二二二
新新	一一一	一一一	一一一	一一一
新新	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
新新	九九九	九九九	九九九	九九九
新新	八八八	八八八	八八八	八八八
新新	七七七	七七七	七七七	七七七
新新	六六六	六六六	六六六	六六六
新新	五五五	五五五	五五五	五五五
新新	四四四	四四四	四四四	四四四
新新	三三三	三三三	三三三	三三三
新新	二二二	二二二	二二二	二二二
新新	一一一	一一一	一一一	一一一
新新	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に読める

川崎 回文庫
電話六三〇番

自由の雑誌

川崎 回文庫
電話六三〇番

丹野齒科醫院

丹野 淳夫
小澤前 電話三八五番

開店

御家庭御台所の御手傳へ
一寸御出下されば簡易に御惣菜物
何でも安く揃へます。……

○どうぞ一度御用命下さい
○精々勉強致します

萬漬物類
萬つくぐだに
食料品各種

二十三夜毎に御披露サービス券差上ります
平町三丁目魚清向へ

資來屋商店

魚清食堂

別製氷おた福豆
アイスクリーム あづきアイス ミルクケーキ
クリームソーダ水 氷あづき ソーダ水色々
冷コーヒー みつ豆
御土産にクリームもなが
ほどよく香りのよい
宇治名産氷ひき茶を
初めました、何卒御試食下さる様……

平二警察署裏通り
魚清食堂
電話六六三番

他殺死體の

身元が判明した

小名濱町「天龍」の女給

有力な被疑者檢舉

既報泉村大字下川字志津地内山林の婦人他殺屍體は、年齢廿四五歳、身長五尺九寸、顔の色浅黒、上齒に金歯一本、水色模様のメリンズと単衣、メリンズの帯、白足袋、黒塗の駒下駄及び遺留品のバラソルを手懸りに其筋では女給と睨んでその身元を苦心調査の結果

果小名濱町上町カフエー天龍峰田慶次郎方女給石川郡蓬田村字九生瀧生れ吉田カツイ(三)と判明するに至り直ちに天龍方の家人を召喚しカツイとの馴染客をシラミ潰しに調べた結果昨夜湯本町天王崎居住運轉手小松又郎(三)を有力な被疑者として引致取調中である

情死が

目的の所爲?

屍体の傍らに

猫イラズの罐

女の死因は咽喉部其他に充血した跡が黒くふちて居る處から鼻口を壓して扼殺したものと鑑定であるが白水検事が立會つて屍體を解剖に附した結果肺及び腸に結核菌を有して居り殊に屍體の傍らに猫イラズの罐が放棄してある点から見て多分最初は女の病氣に同情した男が情死を誓つて先きに女を扼殺し死に直面して急に怖氣付き逃走するに至つたものと推察される

突き當り

酌婦を殴る

小名濱町古港野崎貞行方漁夫渡邊政雄(三)同立花雄七方片岡長四郎(三)の兩名は去る十二日夜同町中町飲

江筋工事で

椽ぎの傍ら

セメント窃盗

其他に小鼠泥十三件

内郷村大字宮居住土工柴田(三)は本月三日好間村愛谷江筋工事の労働に従事中倉庫に忍入つてセメント八十俵時價百圓餘を窃取した事發覺目下平署で取調中であるが餘罪小鼠泥十三件を自白した

吉田未亡人逝く

平町白銀町吉田禮次郎氏未亡人吉田喜代治氏母堂千代子刀自は杉並區井荻町一の三八吉田素氏方で廿二日午後三時十五分死去享年六十三、葬儀は廿六日午後一時より三時まで白銀町の自宅で行

古代瓦の研究

長谷藩主内藤子爵の御曹子東北帝大法文學部屬託内藤

明日のラジオ
廿五日
今晩は南西の風
明日は南東の風
晴曇半す

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間 航海唱歌 横山美智子
- 後七、三〇 講演「瀬戸内海の話」廣島文理大講師 梶山英一
- 後七、四五 但謡と歌謡曲 山美智子
- 後八、二〇 航海唱歌 横山美智子
- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

山本一成
後八、四〇 「關の來島を語る」

後九、〇五 但謡「伊豫節」 唄 吉

後九、二〇 航海唱歌 横山美智子

後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

新山町方面を視察し即日歸仙した

老父娘を追ふ 茨城縣眞壁郡下館町字片町飲田金平同居人銀治職酒井要吉(三)は長女タカ(三)が平地方に住んで居ると聞かされて是非會ひたいと家を出た儘其後音信がないと家主から平署に捜査方を願ひ出した

被告の陳述は 當てにならぬ
放火否認の被告に 五年の懲役を求刑

小林、香西兩判事陪席、清田檢事立會の許にまづ證人として喚問の富岡署森巡查部長より被告の自白當時の模様を詳細に聴取り清田檢事は今更ら犯行を認めぬ本人の陳述は信するに足りぬとして懲役五年を求刑したが安齊辯護士は證據不十分であると極力無罪論を主張し閉廷したが判決言渡は來

明日の行方 宮城縣鹽釜町屋島生れ阿部セキ(三)は本月四日迄仙臺市東一番町藝妓屋濱ノ屋方に歌子の藝名で左棲をとつて居たが去る五日情夫と共に行衛を晦したので抱主から本日平署に懸賞金五十圓付の捜査願ひ出でた

平職業紹介所報告
回人を求める方
△コック 二十七才 高卒
△商店員 二十才 尋卒
給料面談

明日の部

- 前六、三〇 速成フランス語講座 丸山順太郎
- 前七、〇〇 朝の修養「家訓講話」白石正邦
- 前七、四〇 教育特別講座「國史より見たる我國體」 徳富猪一郎
- 前八、〇〇 家庭講座「夏の洗濯と染色」菱山衛
- 後〇、〇五 木曜コンサート 和田肇 オリオンコラル コロナオーケストラ
- 後二、〇〇 婦人の時間 「茶道の話」村田志賀
- 後六、〇〇 子供の時間 お話「夏の昆虫採集」名和梅吉
- 後六、二五 講演「遠洋航海より歸りて」中村海軍少將
- 後七、三〇 講演「農村更生の根本對策」福澤泰江
- 後八、〇〇 清元「明島」清元喜久大夫他
- 後八、三〇 漫談「眞夏の夢物語」井口静波
- 後八、五〇 浪花節「山椒太夫」富士月子

△出前持 二十才 尋卒
△炭店員 二十三迄 尋卒
△料理人 二十二才 高卒
△店員 二十七才 高卒

市原醫院
平明・田町
電話一四番

△洋品店員 十八才 高卒
△自動車助手 十九才 尋卒

母子ヨ儀永々病氣之處療養不相叶廿二日午後三時遂に死去仕候間此段御通知申上候

追而七月廿六日午後一時自宅に於て告別式 相替み午後二時出棺大寶寺に埋葬可仕候

昭和十年七月廿四日

平町白銀町

吉田禮次郎
吉田喜代治
吉田喜代治
鈴木光吉
吉田喜代治
柴田徳二郎



明治太平記

(上段及上演)

(作) 寺島經史
(監) 野口

第百八十三回

三人の訪客(九)

「眞つ平、官員は性に合ひません」

「うむ、やはり浪人がよいが、わしも實はその浪人がのぞみだよ」

「あんたが？」

大志賀はふしぎさうに西郷の顔を見あげた。

「丸腰になつて獵でもしてをると、世間とは没交渉だよ」

「それは本氣ですか、それとも朝鮮支那へ獵に往かうといはれるかな」

「ハ、ハ、ハ、なか／＼推量がよいのう……。ときに大志賀君」

「はあ」

「君はお尋ね者なさうだのう」

「いかにも」

「いのちがおしいか」

「なアに」

「うむ、それではそのおしくない命をすてに朝鮮へ往くか」

「えー」

「は、ア、西郷は野にくだつて國民の意志をあらめて朝鮮征伐をする壯だなる

……とおもつた。それにはもちろん反對ではないがこの明治新政府になくしてならぬ人物を、矢おもてに立たしては惜しい。西郷が自ら國民軍をひきゐて朝鮮へ押し渡るとは大久保、思ふ



つぼにはまつて、パークスは進められて外遊すると同じことだ。

朝鮮征伐は、大賛成だがこの時局多端の場合西郷が廟堂から缺けてしまつては、大久保一人の天下となり、パークスにうまくなり、パークスにうまくなり、やがては國をほろぼしてしまふだらう。

厭人癖が昂じてこの日頃世を呪ひ人を憎んでをる大志賀だが、西郷と面接してをるうちにしみ／＼と西郷の人間味、愛敬の念が生じてきた。

西郷は目をつむつた。「あんたが朝鮮へ虎退治に往かれたら國內を横行するたら誰が退治するか……西郷さん、日本國內に威を張る猛虎の方がよけい手ごわいでござ」

「……」
彼は何と思つたかいきなり手をのべて黙つて大志賀の首を握りしめた。

「……」
もう今日で五日、らしやめんとわは一室に檻禁されたのだ。

頬の肉は落ち黒髪は亂れ明眸にも斗氣がなく見違へるほどの變りやうである。

同じ室にウエルズは驚のやうな鋭い目で控えてゐた彼もまた精神的にも肉體

的のうへにも、はなはだし疲勞のさへあることを自らさとつてゐた。

御新益の御用意下サイ

御戒名入提灯…… 岐阜提灯各種

カナラズ良ク安ク御願ヒ致シマス 是非御下命下サマ

平四丁目 スガノヤ提灯店 電話 95

外科 内臓外科

レントゲン線

病室完備
醫學博士 諸 橋 鐵 彌
◎新川町二七 (電四六四)

外科 専門

上田外科病院

平町 南町
電話 一二九番

同胞よ、斷じて病氣するな斷じて世界一となれ
勇氣、斷行、進取は健康より來る

此夏は斷じて病氣するな
ホシチヤヤコル錠
ミホシ胃腸薬
依つて、
日本を世界一の製
薬國たらしめ、世
界一の元氣な國民
たらしむるホシの
薬業報國共鳴者へ
の感謝として



薬業報國

六月六日ヨリ八月八日まで
ホシチヤヤコル錠 三十分錠 御買上
ホシチヤヤコル錠 五十分錠 御買上
ホシチヤヤコル錠 一分錠 御買上
ホシチヤヤコル錠 一分錠 御買上
ホシチヤヤコル錠 一分錠 御買上
ホシチヤヤコル錠 一分錠 御買上
ホシチヤヤコル錠 一分錠 御買上
ホシチヤヤコル錠 一分錠 御買上

星製薬株式会社
ホシチヤヤコル錠